

## ◎フルマリン静注用 [注]

【重要度】★★ 【一般製剤名】フロモキシセフナトリウム (FMOX) Flomoxef Sodium 【分類】オキサセフェム系抗生物質

【単位】▼0.5g・◎1g/V

【常用量】1~2g/日 [最大 4g/日]

【用法】1日2~4回静注, 点滴静注

【透析患者への投与方法】1日1回0.5~1.0g, 透析日には透析後に投与 (5)

【その他の報告】HD患者には透析後に1g (Chemotherapy 35 (S-1) : 518-22, 1987) 1回0.5gを48hr毎 (Chemotherapy 35 (S-1) : 1032-48, 1987)

【PD】1日1回1g (Chemotherapy 35 (S-1) : 518-22, 1987)

【保存期 CKD患者への投与方法】Ccr>50mL/min : 1回1gを1日2回, Ccr 10~50mL/min : 1回0.5gを1日2回, Ccr<10mL/min : 1回0.5g~1.0gを1日1回 (5)

【その他の報告】60≤Ccr<80 : 70%に減量し8~12hr毎, 40≤Ccr<60 : 50%に減量し8~12hr毎, 20≤Ccr<40 : 40%に減量し8~12hr毎, Ccr<20 : 20%に減量し24hr毎 (18)

ESBLs産生菌に対する至適投与量はCcr 50以上 : 1g/6hr, Ccr 10~50 : 1g/8~12hr, Ccr 10未満 : 1g/24hr (Hamada Y, et al: Antibiotics (Basel) 2022 PMID: 35453208)

【特徴】オキサセフェム系注射薬, グラム陽性菌 (腸球菌を除く), グラム陰性菌および嫌気性菌に抗菌作用を示しその作用は殺菌的であるが, 緑膿菌には無効である。位置づけは第2世代+嫌気性菌。

【主な副作用・毒性】ショック, アナフィラキシー, 急性腎不全, 血球減少, 肝障害, 発熱, 発疹, 血液凝固障害 (VK欠乏に関連), 間質性肺炎など

【モニターすべき項目】出血時間, 便検査 (偽膜性大腸炎をチェック)

【代謝】わずかししか代謝されない (1) 尿中回収物より, 活性代謝物としてフロモキシセフ oxide 及び非活性代謝物として hydroxyethyl-tetrazaolethiol (HTT) が存在 (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率 80~90% [12hrまで] (1) 80.4% [8hrまで] (Chemotherapy 35 (S-1) : 613-26, 1997) 91.6% [6hrまで] (Chemotherapy 35 (S-1) : 632-7, 1987) 腎排泄の主体は尿細管分泌であるが高濃度では糸球体濾過の割合が増し, 1g 静注直後では尿細管分泌と糸球体濾過が同程度になる (Chemotherapy 35 (S-1) : 632-7, 1987) オキシンド体として尿中に0.1~0.3%, HTTとして10~23%回収 [24hrまで] (1)

【CL】282.7mL/min (最新医学 42: 1715-21, 1987) 【透析患者のCL】39.9mL/min (最新医学 42: 1715-21, 1987)

【t1/2】0.76hr (Chemotherapy 35 (S-1) : 632-7, 1987) 【透析患者のt1/2】α相20.1min, β相17.4hr (Chemotherapy 35 (S-1) : 613-26, 1987) 24.75hr (Chemotherapy 35 (S-1) : 518-22, 1987) 【PD患者のt1/2】β相12.91hr (Chemotherapy 35 (S-1) : 518-22, 1987)

【蛋白結合率】35% (1) 36.2% (Hamada T, et al: J Oral Pathol Med 31: 109-6, 2002) 28.5% (Chemotherapy 35 (S-1) : 613-26, 1987)

【Vd】13.16L/man (Chemotherapy 35 (S-1) : 518-22, 1987) 9L/man (1)

【分布】PD患者の腹膜透析液中への回収率は約24%と高いため, 腹膜炎治療にも静注で十分な治療効果が得られる (Chemotherapy 35 (S-1) : 518-22, 1987)

【MW】518.45

【透析性】80% (Chemotherapy 35 (S-1) : 1032-48, 1987) HD・HFともに除去効率が高い (Chemotherapy 35 (S-1) : 518-22, 1987) 【透析時t1/2】HD時2.24hr, HF時2.60hr (Chemotherapy 35 (S-1) : 518-22, 1987)

【TDMのポイント】TDMの対象にならない

【O/W係数】0.01 [1-オクタノール水系, pH7] (1) 【pKa】2.74 (1)

【更新日】20220511

※正確な情報を掲載するように努力していますが, その正確性, 完全性, 適切性についていかなる責任も負わず, いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし, それらを利用した結果, 直接または間接的に生じた一切の問題について, 当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は, 日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。